

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **2002269280 A**

(43) Date of publication of application: **20.09.02**

(51) Int. Cl. **G06F 17/60**  
**G07B 11/00**  
**G07B 15/00**

(21) Application number: **2001070891**

(71) Applicant: **UEDA MITSUNOBU**

(22) Date of filing: **13.03.01**

(72) Inventor: **UEDA MITSUNOBU**

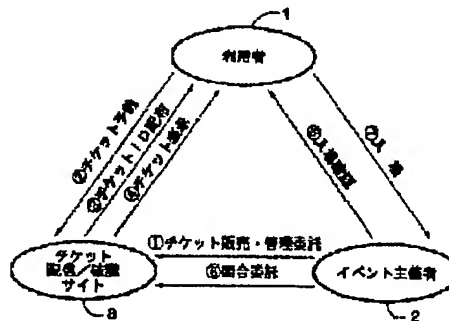
(54) **DISTRIBUTION AND ADMITTANCE CONFIRMING  
METHOD FOR ON- LINE TICKET AND  
MANAGEMENT SERVER SYSTEM FOR IT**

(57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To reduce the management cost by facilitating ticket management including ticket transfer confirmation without directly selling the ticket.

SOLUTION: A management server distributes a ticket ID to a user according to ticket reservation from a user whose personal information is previously registered to transfer the right to obtain the ticket to the user. On that day for the event, the ticket ID and personal information of the concerned user are received from the user, and a ticket screen display is made on a portable terminal device possessed by the user by collation. At the time of entering the event place, it is detected that an admittance confirming button allotted to a part of the ticket screen and displayed is operated, and the ticket screen display is erased to confirm admittance of the user.

COPYRIGHT: (C)2002,JPO



(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2002-269280  
(P2002-269280A)

(43) 公開日 平成14年9月20日 (2002.9.20)

| (51) Int.Cl. <sup>7</sup>           | 識別記号                                      | F I           | テ-マコード*(参考)                                   |
|-------------------------------------|---|---------------|---|
| G 0 6 F 17/60                       | 1 4 6<br>Z E C<br>3 2 2<br>4 1 0<br>5 0 2 | G 0 6 F 17/60 | 1 4 6 A<br>Z E C<br>3 2 2<br>4 1 0 A<br>5 0 2 |
| 審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 7 頁) 最終頁に続く |   |               |   |

(21) 出願番号 特願2001-70891(P2001-70891)

(22) 出願日 平成13年3月13日 (2001.3.13)

(71) 出願人 501099622

植田 光信

神奈川県秦野市南矢名2215

(72) 発明者 植田 光信

神奈川県秦野市南矢名2215

(74) 代理人 100060690

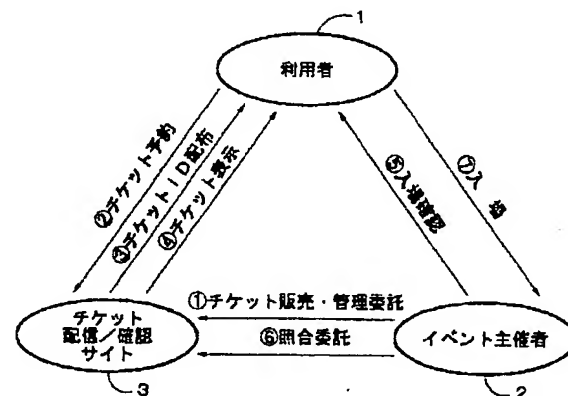
弁理士 瀧野 秀雄 (外3名)

(54) 【発明の名称】 オンラインチケットの配布ならびに入場確認方法、およびその管理サーバシステム

(57) 【要約】

【課題】 チケットを直接販売することなく、入場確認を含むチケット管理を容易化し、管理コストの低減をはかる。

【解決手段】 管理サーバが、あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡し、イベント当日、利用者からそのチケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なう。そして、イベント会場への入場時、チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認釦の操作が行なわれたことを検出し、チケット画面表示を消去してその利用者の入場確認を行なう。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置と、チケット配信サーバとはインターネット網を介して接続されるチケット販売システムに用いられるオンラインチケットの配布ならびに入場確認方法であって、

あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、前記利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡し、

イベント当日、前記利用者から前記チケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって前記利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行い、

イベント会場への入場時、前記チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認釦の操作が行なわれたことを検出し、前記チケット画面表示を消去もしくは表示することなくその利用者の入場確認を行なうこと、を特徴とするオンラインチケットの配布ならびに入場確認方法。

【請求項2】 前記入場確認釦の操作が行なわれたことを検出したとき、既に前記チケットIDに基づく入場者がいた場合に入場済みの警告を発し、入場再確認画面を表示して再確認を促がすこと、を特徴とする請求項1に記載のオンラインチケットの配布ならびに入場確認方法。

【請求項3】 利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続されるオンラインチケット管理サーバシステムであって、あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、前記利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡するチケットID発行手段と、

イベント当日、前記利用者からチケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって前記利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なうチケット画面表示手段と、

イベント会場への入場時、前記チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認釦の操作が行なわれたことを検出し、前記チケット画面表示を消去もしくは表示することなくその利用者の入場確認を行なうチケット入場確認手段と、を備えたことを特徴とするオンラインチケット管理サーバシステム。

【請求項4】 利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続されるオンラインチケット管理サーバシステムのサーバプログラムであって、

あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、前記利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡するステップと、

イベント当日、前記利用者からチケットIDと当該利用

者の個人情報を受信し、照合することによって前記利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なうステップと、

イベント会場への入場時、前記チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認釦の操作が行なわれたことを検出し、前記チケット画面表示を消去もしくは表示することなくその利用者の入場確認を行うステップと、をコンピュータに実行させるサーバプログラム。

【請求項5】 前記入場確認釦の操作が行なわれたことを検出したとき、既に前記チケットIDに基づく入場者がいた場合に入場済みの警告を発し、入場再確認画面を表示して再確認を促がすステップをコンピュータに実行させる請求項4に記載のサーバプログラム。

【請求項6】 利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続されるオンラインチケット管理サーバシステムのサーバプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、

あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、前記利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡するステップと、

イベント当日、前記利用者からチケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって前記利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なうステップと、

イベント会場への入場時、前記チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認釦の操作が行なわれたことを検出し、前記チケット画面表示を消去もしくは表示することなくその利用者の入場確認を行なうステップと、をコンピュータに実行させるサーバプログラムを記録した記録媒体。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、オンラインチケットの配布ならびに入場確認方法、およびその管理サーバシステムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来のチケットを事前に配布するシステムでは、窓口、受付、店舗等を運営するためにたくさんの人材を要し、また、チケットを事前に配布することによってそれらを商業的に買い占め不当な値段で取引を行なう業者も出現して様々な弊害も生じ、社会問題にもなっている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら近年、通信環境の整備およびインターネット接続環境を持つ携帯電話やPDA(Personal Digital Assistants)等モバイル機器の出現によって必ずしも紙のチケットにこだわる必要がなくなった。紙のチケットを配布しなくてもモバイル端末の画面にチケットを表示することにより、

窓口、店舗を不要とし、また、人材の合理化が可能となり、更には、インターネットの利用でロスタイムをなくし、情報の管理も容易になるといった利点を持つ。

【0004】本発明は上記背景技術に鑑みてなされたものであり、チケットを直接販売せずに入場確認を含むチケット管理を容易化し、管理コストの低減をはかったオンラインチケットの配布ならびに入場確認方法、およびその管理サーバシステムを提供することを目的とする。

【0005】

【課題を解決するための手段】上記した課題を解決するために本発明は、利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置と、チケット配信サーバとはインターネット網を介して接続されるチケット販売システムに用いられるオンラインチケットの配布ならびに入場確認方法であって、あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、前記利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡し、イベント当日、前記利用者からチケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって前記利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行い、イベント会場への入場時、前記チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認鉤の操作が行なわれたことを検出し、前記チケット画面表示を消去もしくは表示することなくその利用者の入場確認を行うことを特徴とする。

【0006】また、請求項2に記載の発明は、請求項1に記載のオンラインチケットの配布ならびに入場確認方法において、前記入場確認鉤の操作が行なわれたことを検出したとき、既に前記チケットIDに基づく入場者がいた場合に入場済みの警告を発し、入場再確認画面を表示して再確認を促すことを特徴とする。

【0007】上記した課題を解決するために請求項3に記載の発明は、利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続されるオンラインチケット管理サーバシステムであって、あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、前記利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡するチケットID発行手段と、イベント当日、前記利用者からチケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって前記利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なうチケット画面表示手段と、イベント会場入場時、前記チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認鉤の操作が行なわれたことを検出し、前記チケット画面表示を消去もしくは表示することなくその利用者の入場確認を行なうチケット入場確認手段と、を備えたことを特徴とする。

【0008】上記構成により、管理サーバは、あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡し、イベント当日、利用者からそのチケッ

トIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なう。そして、イベント会場への入場時、チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認鉤の操作が行なわれたことを検出し、チケット画面表示を消去してその利用者の入場確認を行なう。このことにより、チケットを直接販売せずに入場確認を含むチケット管理を容易化し、管理コストの低減がはかれる。また、再入場画面を表示することによってチケットの複製は不可能であり、更に事前に複製していたとしても一人が入場すれば入場済みの警告が出現するため、入場係員によって入場が無効とされる。入場確認後、データがチケット配信/確認サイトに送信されてチケット画面は消去され、次に、IDを入力すれば再入場画面が表示されることから、同じIDによる二度の入場はできない。

【0009】上記した課題を解決するために請求項4に記載の発明は、利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続されるオンラインチケット管理サーバシステムのサーバプログラムであって、あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、前記利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡するステップと、イベント当日、前記利用者からチケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって前記利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なうステップと、イベント会場入場時、前記チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認鉤の操作が行なわれたことを検出し、前記チケット画面表示を消去もしくは表示することなくその利用者の入場確認を行なうステップと、をコンピュータに実行させるサーバプログラムである。

【0010】また、請求項5に記載の発明は、請求項4に記載のサーバプログラムにおいて、前記入場確認鉤の操作が行なわれたことを検出したとき、既に前記チケットIDに基づく入場者がいた場合に入場済みの警告を発し、入場再確認画面を表示して再確認を促すステップをコンピュータに実行させることを特徴とする。

【0011】上記課題を解決するために請求項6に記載の発明は、利用者が所持するネット接続環境を持った携帯端末装置とはインターネット網を介して接続されるオンラインチケット管理サーバシステムのサーバプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体であって、あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、前記利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡するステップと、イベント当日、前記利用者からチケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって前記利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なうステップと、イベント会場入場時、前記チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認鉤の操作が行なわれ

たことを検出し、前記チケット画面表示を消去もしくは表示することなくその利用者の入場確認を行なうステップと、をコンピュータに実行させるサーバプログラムを記録した記録媒体である。

【0012】

【発明の実施の形態】図1は、本発明のオンラインチケットの配布ならびに入場確認方法が実現されるビジネスモデルとその利用主体の関係を説明するために引用した図である。

【0013】図1において、利用主体は、利用者1、イベント主催者2およびチケット配信/確認サイト3から成る。イベント主催者2は、チケット配信/確認サイト3に対してチケットの販売およびその管理を委託する(①)。利用者1は、チケット配信/確認サイト3が指定する方法でチケットを予約し(②)、チケット配信/確認サイト3は、入金確認後、チケットに個別に割り当てられたチケットIDを利用者1に配布する(③)。チケット配信/確認サイト3は、チケットを得る権利を利用者1に譲渡し、実際のチケットの配信は公演当日に行なう。

【0014】利用者は、公演当日、所持するモバイル端末機器を介してチケット配信/確認サイト3をアクセスし、その結果、チケットの配信を得る。チケットの配信は、具体的には利用者1が所持するモバイル端末機器の画面にチケットを表示することによりなされる(④)。利用者1は、その画面を表示したままコンサート会場に入場する(⑤)。入場係員は、利用者のモバイル端末機器の画面を確認後、モバイル端末機器に表示された入場確認紐を操作することにより、チケット配信/確認サイト3に入場者の通知を行い、照合を委託する(⑥)。チケット配信/確認サイト3では、入場確認のための照合を行い、その結果をイベント主催者2に返し、入場係員はその結果を待って利用者のコンサート会場への入場を許可もしくは禁止する(⑦)。

【0015】図2は、本発明のオンラインチケットの配布ならびに入場確認方法が実現されるオンラインチケット販売システムの接続形態を説明するために引用した図である。図2において、符号13は、チケット配信/確認サイト3に備え付けの管理サーバであり、利用者1が所持するモバイル端末機器11とはインターネット網10を介して接続されている。管理サーバ13は、本発明システムの利用を許可された利用者と、発行されるチケットIDを管理するために照合用の管理データベース(DB)14を備えている。また、モバイル端末機器11は、インターネット網10への接続環境を備えた携帯電話、あるいはインターネットエクスプローラ、ネットスケープナビゲータ等のブラウジングソフトウェアを備えたPDA端末とする。なお、符号12は、イベント主催者側で管理する入場ゲートに備え付けの管理端末装置であり、この管理端末装置12もまた、インターネット

網10に接続されている。但し、この管理端末装置12は、本発明を実現するうえで必須ではない。

【0016】図3は、図2に示す管理サーバ13の内部構成を機能展開して示したブロック図である。以下に説明する各ブロックは、具体的には、CPUならびにメモリを含む周辺LSIで構成され、CPUがメモリに記録されたプログラムを読み出し逐次実行することによってそのブロックが持つ機能を実現する。管理サーバ13は、チケットID発行部131、チケット画面表示部132、チケット入場確認部133、利用者登録DB141、チケット管理DB142で構成される。

【0017】チケットID発行部131は、あらかじめ個人情報が登録された利用者からのチケット予約に従い、利用者1にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡する機能を持つ。チケット画面表示部132は、イベント当日、利用者1からチケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、各データベース141、142と照合することによって利用者が所持するモバイル端末機器11にチケット画面表示を行なう機能を持つ。チケット画面表示の具体例は図5に示されている。詳細は後述する。チケット入場確認部133は、利用者がイベント会場へ入場する際、チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認紐の操作が行なわれたことを検出し、チケット画面表示を消去、もしくは表示することなくその利用者の入場確認を行なう機能を持つ。

【0018】図4、図5は、図1乃至図3に示す本発明実施形態の動作を説明するために引用した図であり、基本動作の流れ、チケット画面表示の遷移ならびにその画面構成の一例についてそれぞれを示す。以下、図4、図5を参照しながら図1乃至図3に示す本発明実施形態の動作について詳細に説明する。

【0019】まず、利用者は、モバイル端末機器11の電源をONしてインターネット接続モードに設定することによって、その画面上にメニュー表示を行なう(ステップS41)。そのメニュー画面の構成を図5(a)に示す。ここでは、メニューとして、(1)利用者登録、(2)チケット申し込み、(3)チケット譲渡サイトへ、(4)チケットキャンセル、(5)チケット表示の5つのメニューが示されている。ここでは、利用者は、住所、氏名、電話番号、メールアドレス、銀行口座またはクレジットカード番号等から成る個人情報を既に登録しており、利用者IDならびにパスワードが既に発行登録されており、本発明システムの利用が許可されているものとして説明する。

【0020】まず、利用者は、メニュー表示された項目の中からチケット申し込みを選択し、チケット配信/確認サイト3が指定する方法でチケット予約を行なう(ステップS42)。このときに表示される画面を図5(b)に示す。管理サーバ13は、これを受けてその内容を確認し、入金確認後(ステップS43)、チケット

に個別に割り当てられたチケットIDを発行し、その利用者1に送信する(ステップS44)。このチケットIDの発行および利用者への送信は、チケットID発行部131が行なう。チケット配信/確認サイト3は、チケットを得る権利を利用者1に譲渡し、実際のチケットの配信は公演当日に行なうものとする。

【0021】公演当日、利用者は、モバイル端末機器11を操作してチケット配信/確認サイト3をアクセスし、チケットID、利用者ID、パスワードを入力する(ステップS45、S46)。チケット入力画面を図5(c)に示す。これを受けた管理サーバ13は、これら入力を確認(ステップS45～S47)したうえで利用者登録DB141、チケット管理DB142を参照し照合する(ステップS48)。ここで認証を得た場合のみ、そのモバイル端末機器11にチケット画面を送信する(ステップS49)。チケット画面の送信は、チケット画面表示部132が行なう。その具体例を図5(d)に示す。

【0022】利用者は、そのチケット画面を表示したまま公演会場に入場する。このとき、入場係員は、利用者のモバイル端末機器11の画面を確認後、チケット表示画面の任意位置に割り付けられ表示されてある入場確認釦(アイコン)を押下して入場確認を行なう(ステップS50、S51)。ここで、図5(e)に示す入場再確認画面が表示され、係員が再度入場確認釦を押下することによって図5(f)に示す再入場画面が表示される。上記した入場確認は管理サーバ13のチケット入場確認部133によって行なわれ、モバイル端末機器11からチケット配信/確認サイト3に利用者が入場したことの情報を受け(ステップS52)、そのチケットIDを含む利用者情報を照合して(ステップS53)、認証が得られた場合のみそのチケット表示画面を消去する(ステップS54)。なお、消去のみならず非表示としても良い。係員はこのことを確認したうえで利用者1の入場を許可する。

【0023】また、再入場画面を表示することによってチケットの複製は不可能であり、更に事前に複製していたとしても一人が入場すれば入場済みの警告が出現し(ステップS55)、入場係員によって入場が無効とされる。入場確認後、データがチケット配信/確認サイトに送信されてチケット画面は消去され、次に、IDを入力すれば再入場画面が表示されることから、同じIDによる二度の入場はできない。入場確認が行なわれると、モバイル端末機器11の画面は入場確認画面しか表示できなくなり、チケットの複製や偽造はできない。また、入場確認前に複数のモバイル端末機器11で同じチケットを表示していても、一度入場確認が行なわれれば、管理サーバ13は次の入場確認を受け付けない。従って、

同じチケットで何人も入場することは不可能である。

【0024】なお、上記した本発明実施形態によれば、公演チケットのみ例示したが、公演に限らず入場チェックが必要なイベント全般に応用可能である。また、本発明は基本的にはインターネット接続可能なモバイル端末機器を携帯する必要があるが、コールセンターと接続することによる利用者登録、あるいはオペレーションサービスのために通常の電話を利用することは可能である。

【0025】

【発明の効果】以上説明のように本発明は、あらかじめ個人情報登録された利用者からのチケット予約に従い、利用者にチケットIDを配布してそのチケットを得る権利を譲渡し、イベント当日、利用者からそのチケットIDと当該利用者の個人情報を受信し、照合することによって利用者が所持する携帯端末装置にチケット画面表示を行なう。そして、イベント会場への入場時、チケット画面の一部に割り付けられ表示される入場確認釦の操作が行なわれたことを検出し、チケット画面表示を消去してその利用者の入場確認を行なうものであり、このことにより、チケットを直接販売せずに入場確認を含むチケット管理を容易化し、管理コストの低減がはかれる。また、紙のチケットを配布しなくてもモバイル端末機器の画面にチケットを表示することにより、窓口や店舗を不要とし、更に人材の合理化が可能となる他に、インターネットの利用でロスタイムをなくし、情報の管理も容易になるといった利点を持つことは勿論のことである。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のオンラインチケットの配布ならびに入場確認方法が実現されるビジネスモデルとその利用主体の関係を説明するために引用した図である。

【図2】本発明のオンラインチケットの配布ならびに入場確認方法が実現されるオンラインチケット販売システムの接続形態を説明するために引用した図である。

【図3】図2に示す管理サーバの内部構成を機能展開して示したブロック図である。

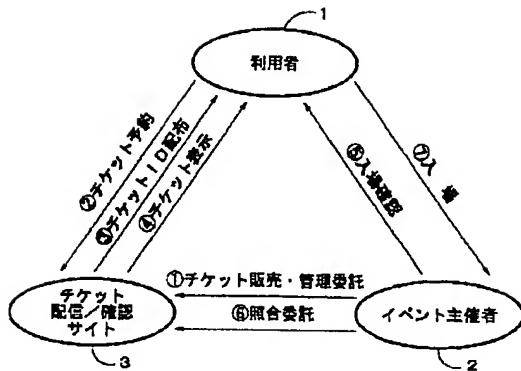
【図4】本発明実施形態の基本動作の流れを説明するために引用したフローチャートである。

【図5】本発明実施形態の動作を説明するために引用した図であり、画面遷移ならびにその画面構成の一例を示す図である。

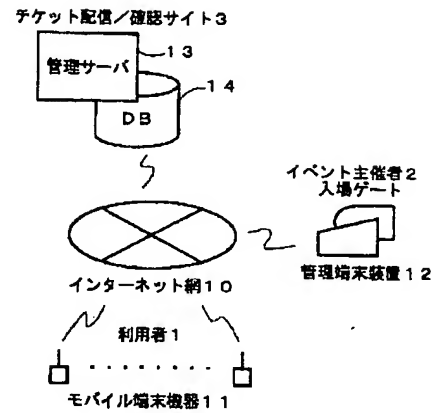
【符号の説明】

1…利用者、2…イベント主催者、3…チケット配信/確認サイト、11…モバイル端末機器、12…管理端末装置、13…管理サーバ、14…管理データベース(DB)、131…チケットID発行部、132…チケット画面表示部、133…チケット入場確認部、141…利用者登録DB、142…チケット管理DB

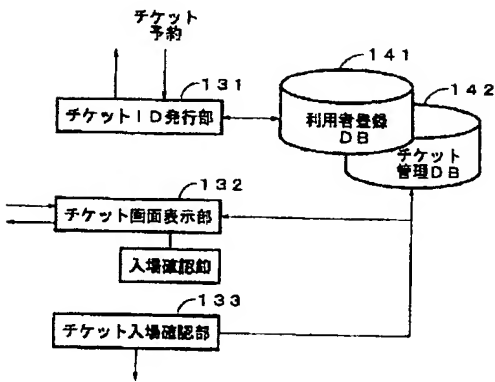
【図1】



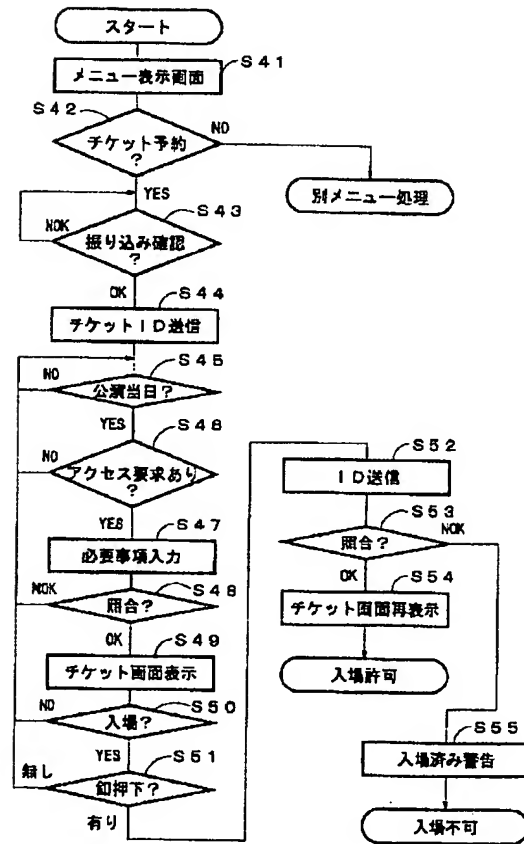
【図2】



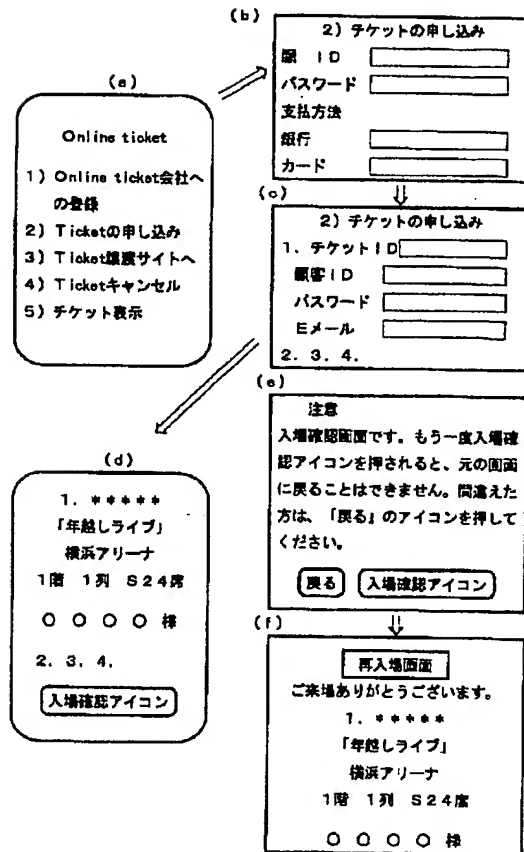
【図3】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

| (51) Int. Cl. 7 | 識別記号  | FI            | 備考 (参考) |
|-----------------|-------|---------------|---------|
| G 0 6 F 17/60   | 5 0 6 | G 0 6 F 17/60 | 5 0 6   |
| G 0 7 B 11/00   | 5 0 1 | G 0 7 B 11/00 | 5 0 1   |
| 15/00           | 5 0 1 | 15/00         | 5 0 1   |